

くすのき



北九州市立葛原小学校
校長 二宮 利之

★心を一つに、そして、 目標に向かって頑張る子どもたち★

台風が何度も近づき、不安定な気候が続きました。一方、夏の暑さがおさまり、様々な学習活動に取り組みやすい気候になったことは、幸いです。

二学期になり、学校での集団教育ならではの様々な取組が進行中です。主に高学年の取組をご紹介します。

【五年生・もじ少年自然の家での自然教室】



二日間にわたって、「規律」「協同」「友愛」「奉仕」を学ぶ少年自然の家での活動を行いました。

活動を楽しむとともに、「五分前の集合を心がける」

「集合したら、静かに待つ」「返事や返答をすべきときには、きちんと行う」などの細かな集団行動目標も、二日間で目に見えて定着していきました。学校の中心学年として、一人一人が自覚が高まり、成長した姿が見られ、とても有意義な取組となりました。

【六年生・小倉南区陸上記録会への取組】

少し早めに登校して、朝から体力づくりに励む取組を続けてきた六年生。九月からは、陸上記録会に向けての練習が本格化しています。

一人一人が自分の記録の向上、体力アップをめざして、様々な種目に分かれ熱心に練習に励む姿

は、さすが六年生という感じです。

目標をもって競い合った仲間の中から、代表選手が陸上記録会で競技することとなります、『一緒に練習した仲間』『私たち(みんな)の代表』という一体感を常にもって、応援にも、競技にも臨んで欲しいと思います。



【四年生・連合音楽会に向けての取組】

学力・体力がクローズアップされる今日ですが、心豊かな感性を育むことにも取り組まねばなりません。音楽を通して、「心を一つにすること」「周りの人が奏でている音を聴き、合わせること」などを気をつけさせながら、練習に取り組んでいます。完成し、いろいろな方の前で披露することで、満足感や成就感も感じさせたいと思います。また、一番大切な「音楽っていいなあ」という情操を育てられると理想的です。

【お願い】

連合音楽会、陸上記録会では保護者の皆さんの観覧ができます。どうぞたくさんのお越しをお願いします。観覧場所や方法、駐車場などについては別紙でお知らせします。違法な駐車のために、演技や競技が中断される状況が生まれないように、小倉南区区内全校の約束事をご理解の上、ご協力をお願いします。

学校で行う連音壮行会(10/16)では写真やビデオをとっていただいて結構です。

ただし、ツイッター、ライン、フェイスブックなどSNSへの投稿は絶対にしないようにお願いします。個人情報の漏洩問題がおこる怖れがあります。

これらの取組に関しては、体調管理・早めの登校・体操服の準備、家庭での自主練習などの点で、ご家庭の皆様にも多くのご協力をいただいていることと思います。本当にありがとうございます。

★人権学習授業参観と 人権講演会のお知らせ★

「明日は、学校行きたくないなあ」

「みんなに会いたくないなあ」

そんな気持ちにさせない学校づくり、仲間づくりに、教職員で力を合わせて取り組んでいます。

しかし、学校生活の中では、子ども同士の付き合いの中で発言したことなどが原因で、傷つけられたり、追い込まれた気持ちになったりすることがあります。始業式の校長の話の中でも、二学期の目標の一つとして、「みんなが行くことが楽しい学校にしよう」ということを挙げました。

10月2日(火)には、三年生の学年集会の中で、友だちの一言で傷ついて、学校に行きたくなくなった例え話や、苦手なことがありながらも、それを克服し、立派な大人になった人たちの事例を用いながら、「苦手なことがある人を、そのことではかにすることは間違っていること」「苦手なことがある人のことをよく理解して支え、協力することが必要なこと」などをお話しました。感じたこと、考えたことは様々だったようですが、心温まる感想を残してくれました。

さて、11月8日(水)には、学習参観後、人権講演会を、本校体育館にて、14:50から行います。人権講演会では、演題『「それ、おかしいよ、まちがってるよ」と言える人になるために」と題しまして、私がお話をさせていただきます。

相手を傷つける言動・行動の奥には、自分と相手の違いを認めることができない心、根拠のないうわさや偏見に惑わされる心などの「ものの見方・考え方」の問題が存在します。当日は、それらの「心」の部分に焦点を当て、五・六年生の児童並びに、教員・保護者の皆様と考え合う場とし、「主体的に判断し、行動できる大人」をめざす取組の一環にしたいと思っております。

児童の参加は、五・六年生だけですが、保護者の参加は、子どもさんがどの学年の方でも構いません。一生懸命話をさせていただきたいと思っております。多数の皆様のご参加をお待ちしております。